

## 祝辞



諏訪のまだ冷たい風の中にも、やわらかな春の兆しを感じられる頃となりました。  
三月三日、桃の節句の佳き日に、この晴れやかな卒業式を迎えられましたことを、心よりお慶び申し上げます。

卒業生の皆さん、ご卒業、誠におめでとうございます。また、慈しみ、成長を見守ってこられました保護者の皆様、心よりお祝い申し上げます。そして、親身になってご指導くださいました校長先生をはじめとする教職員の皆様に、改めて感謝とお礼を申し上げます。

本日、晴れてこの諏訪二葉高等学校を巣立つ皆さんを前に、同窓会を代表してお祝いの言葉を申し上げますことを大変嬉しく思います。

今日から皆さんは、「卒業生」とであると同時に新たな「同窓生」となります。同窓会とは、同じ学び舎で学んだという共通の記憶を持つ仲間が、世代を超えて繋がり続ける場所です。それぞれの時代を生き、それぞれの道を歩みながらも、私たちは「二葉」という原点で結ばれています。

今日、久しぶりに校舎を訪れ、正面玄関前の三本のヒマラヤ杉が伐採されたことに気づき、驚かれた方も多いのではないのでしょうか。三年間、皆さんを静かに見守ってきた大きな杉は、長い年月にわたり多くの生徒や同窓生の成長を見届けてきました。

形あるものは、やがて姿を変えます。あまりにも当たり前のようにそこにあった存在だからこそ、その不在は心に残ります。けれども、その姿がなくなった今も、空へと真っ直ぐに伸びる力強さや、大地にしっかりと根を張る姿勢は、私たちの記憶の中に生き続けています。

この学校の長い歴史も、同窓会の歩みも、そうして静かに受け継がれてきました。目に見える形が変わっても、大切なものは次の世代へと託されていきます。今日から皆さんも、その歴史を受け継ぐ一人です。「二葉」で培った誇りを胸に、それぞれの場所でしっかりと根を張り、自分らしく大きく空へと枝を広げていってください。

最後に、旧制諏訪高等女学校当時の昭和11年から男女共学化になるまで、本校に飾られてきた伝統の「お雛様」を正面玄関ロビーに今年も飾りました。このお雛様は当時の岩本校長先生が提案され、教職員の方々のカンパもあり購入してくださったものです。ずっと受け継がれてきた二葉のお雛様が皆さんの門出をお祝いして、お見送りして下さっています。ぜひとも品格あるお姿を一目ご覧になってください。

卒業生の皆さんの前途に、幸多からんことを心よりお祈りし、お祝いの言葉といたします。



令和8年3月3日

諏訪二葉高等学校同窓会 会長 河西美智与